

平成21年8月17日
福島市建設部
福島県土木部
福島河川国道事務所

「阿武隈川上流河川レビュー」パネル展開催！ ～親子で考えよう！ あなたの住んでいるまちは安心ですか？～

近年、気候の変化や異常気象などにより、全国いたるところで、大きな風水害や土砂災害が発生しています。本格的な台風シーズンを迎え、私たちの暮らす福島県の地理的・気候的特徴や洪水被害そして洪水を防ぐための河川改修の歴史、現在の取り組み、これからの洪水対策などについて解説したパネル展を開催します。

防災週間に先立ち、私たちの住んでいるまちは本当に安心なのか、夏休みを利用して親子で考えていただく機会にさせていただきたいと考えています。

1. 名称：「阿武隈川上流河川レビュー」パネル展
2. 実施期間及び開催場所
平成21年8月20日（木）13：00～16：00
ウェディングエルティ（福島市）【阿武隈川サミット会場】
平成21年8月21～24日 9：30～17：00（最終日は16：00）
福島市子どもの夢を育む施設「こむこむ」【1Fにぎわい広場】
3. 主催者
福島市建設部、福島県土木部、国土交通省福島河川国道事務所
4. 展示予定パネル
 - 阿武隈川上流の改修を振り返る〈河川レビュー〉 約10枚
～阿武隈川の昔、今、これから～ ※別添参照
 - 昔のかわ・今のかわ・福島のかわ 約10枚
～写真でつづる福島市内のかわの歴史～
5. 記者発表先 福島県県政記者クラブ、福島市記者会

＜ 問い合わせ先 ＞

福島市建設部 河川課長 高橋 通夫

福島市五老内町3-1 TEL024(525)3756

福島県土木部河川計画課 副課長 前田 和則

福島市杉妻町2番16号 TEL024(521)7482

国土交通省福島河川国道事務所 工務第一課長 水越 崇

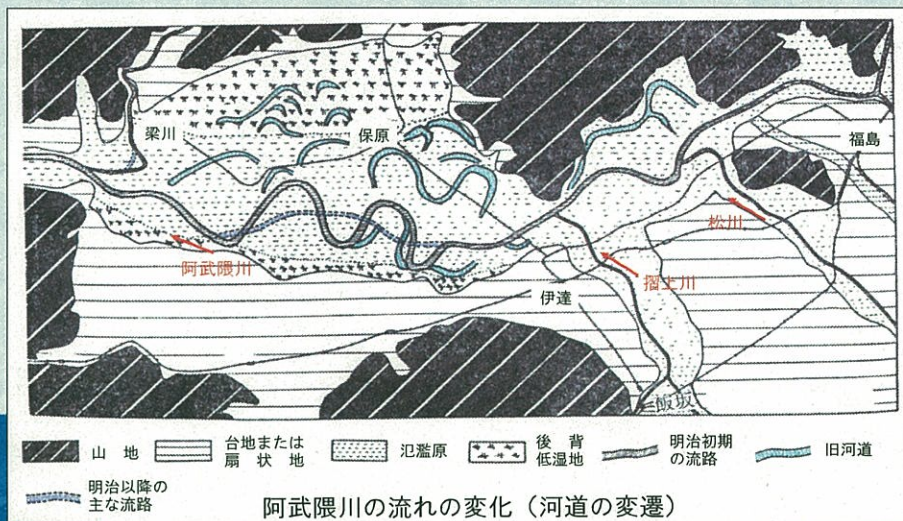
福島市黒岩字榎平36番地 TEL024(539)6125

阿武隈川上流の改修を振り返る〈河川レビュー〉

■ 洪水を防ぐための改修（藩政時代）

■ 改修と川の流るの変化

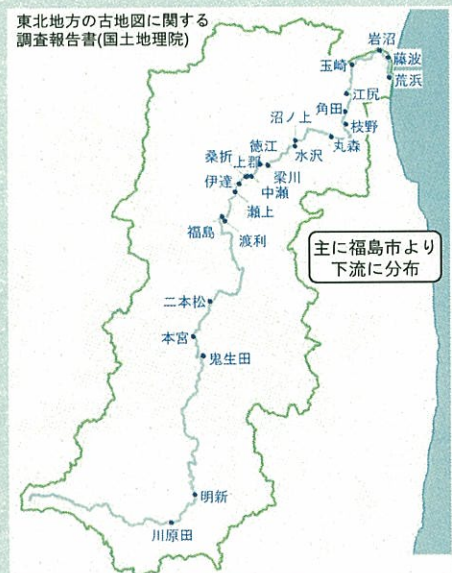
- ◆ 洪水が起こるごとに川の流るが変化し、そのたびに水田や畑などの境界争いがありました。



- ◆ この時代の河川改修は、現在のような調査や計画は行われずに、災害をきっかけに堤防が造られたり、川の流るを変えることなどが行われていました。

しゅうらん ■ 舟運（物資輸送や交通手段としての川の利用）

- ◆ 川はかつては、食料の運搬や移動手段として盛んに利用されていました。
- ◆ 藩政時代には、天領米（年貢）運搬のため、江戸の豪商が私財を投じて、福島（福島市）から荒浜（宮城県亘理町）までの川ざらいをし、舟運のための航路を開きました。



舟運の拠点となった河岸(かし)の分布

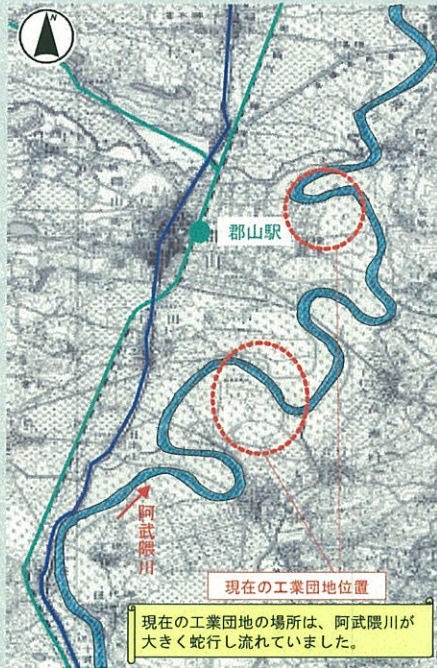


阿武隈川上流の改修を振り返る〈河川レビュー〉

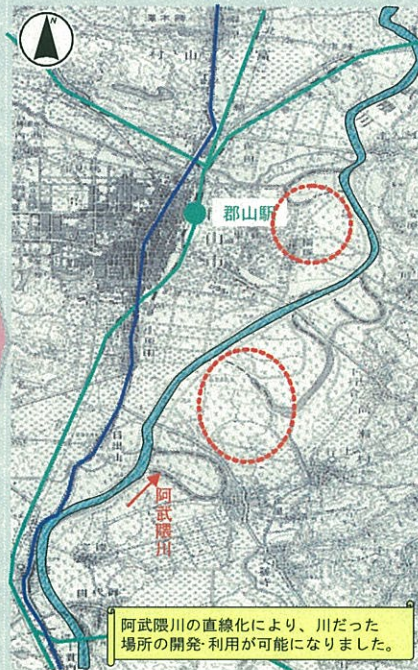
■ 阿武隈川の流れ（流路）と周辺の土地利用の変化

■ 改修による阿武隈川の流れ（流路）の変化〔郡山市〕

◆ 蛇行していた阿武隈川が直線化されたことで、洪水被害が軽減され人口や資産が集中してきました。



明治41年の地形図



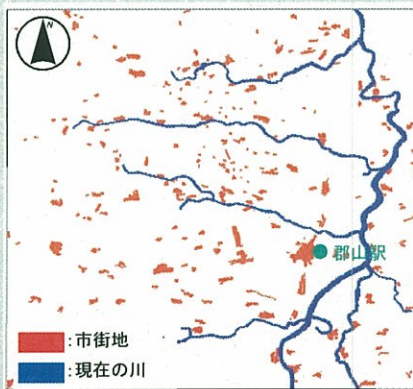
昭和6年の地形図



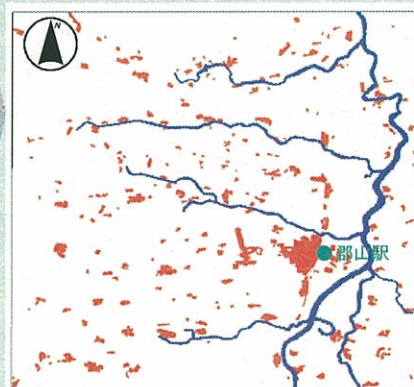
平成12年の地形図

■ 阿武隈川の改修による土地利用の変化〔郡山市〕

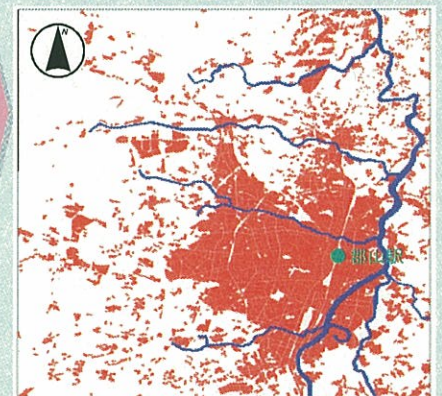
◆ 阿武隈川の改修により阿武隈川沿いの土地の開発が行われ、現在では福島県の全人口の約6割が阿武隈川の流域で生活しています。



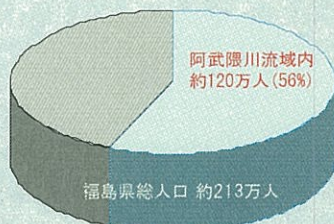
明治41年の市街地



昭和6年の市街地



平成12年の市街地



福島県人口に占める
阿武隈川流域人口の割合